

12月議会一般質問

NO. 425 2018.12.14
日本共産党江南市委員会
電話 55-9890

あすの江南

高すぎる布袋ふれあい会館3F体育室の冷房費 わずか10円相当なのに1280円も徴収

東
よしき
市議

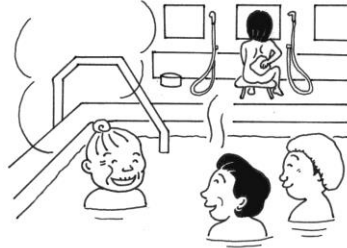


布袋ふれあい会館3階体育室の利用料金は、エアコン代を含めても、2時間あたり現行料金より10円しかアップしないのに、エアコン代として2時間あたり1280円もの別料金を市民から徴収し続けていたことが東議員の質

問で判明。東議員は、ただちにエアコン代の別途徴収を止めよと追及しました。

質問に用いた数字は、市当局が昨年度実績値に基づいて計算したものであったため、議場が静まり返り、副市長は「数字の分析をしない」と答弁せざるを得ませんでした。

また、東議員は市民から「布袋ふれあい会館のお風呂が冷たい。すぐに対応してもらえない。風邪をひいてしまう。」との訴えがあったことを取り上げ、お風呂を有料化しながら不親切な市の対応を批判し、適温への調節を求めました。市当局は「適温で対応している」と主張しました。



そのほかに浸水対策について、消費税10%増税への影響について、市街化調整区域の下水道整備について質問しました。

休耕地に雨水調整池、県が現況測量へ 日光川上流の浸水被害軽減へ一歩前進

森
ケイ子
市議



江南団地西交差点のところを源流とする2級河川日光川は、雨が強く降ると真っ先にあられ、道路の冠水や床上、床下浸水など被害は深刻です。

一つの対策として、休耕地に雨

水調整池をつくり被害を軽減する提案をし、繰り返し実現を求めてきました。先月には、みわ陽子さん（党市子ども教育責任者）といっしょに一宮建設事務所を訪問。市長も奥村県議とともに県に対し調整池の早期完成を要請するなど、江南市を挙げて取り組む体制もできました。

このほど、ようやく県が調整池の有効性を認め、今年度中に調整池の場所や規模を決めるための現況測量に入ることが明らかになりました。長年の懸案の解決へ貴重な第一歩です。

そのほかに災害見舞い金について、障がい児の放課後支援について、給食費の助成制度について、国民健康保険税の軽減についても質問しました。

爆音まき散らし 市民の頭上でF35戦闘機の試験飛行

かけの
まち子
市議



かけのまち子議員は、江南市民の安全と岐阜基地の航空機騒音被害軽減を求め質問しました。

アメリカ・ロッキードマーチン社下請けの三菱重工小牧南工場で最終組み立てされたばかりの、自衛隊に納入前のF35ステルス戦闘機（米軍機扱いで日米地位協定の適用を受ける）が、岐阜基地に飛来し、轟音をともなうタッチ&ゴーの試験飛行を繰り返し、江南市北部上空が旋回飛行コースになっています。



F35 ステルス戦闘機（航空自衛隊 HP より）

今年4月には、試験飛行中に岐阜基地上空でトラブルを発生させて名古屋空港に緊急着陸していました。

このような危険な試験飛行に対し、江南市には前日にメール連絡があるだけで、具体的な情報提供や説明がないことも判明しました。

数々の欠陥があり、すさまじい爆音をまき散らし敵基地攻撃能力をもつ、憲法9条違反のF35ステルス戦闘機の試験飛行が今後も岐阜基地で続けば、市民の安全は確保されず、騒音被害はさらに我慢ならないものになります。試験飛行の中止と詳しい説明を岐阜基地に求めよと追及し、騒音自動測定装置を設置させるよう求めました。

市当局は、岐阜基地周辺市町連絡協議会（江南市、犬山市、扶桑町、大口町）として岐阜基地に説明を求め、騒音自動測定器の設置も求めていくと答弁しました。

ほかに学童保育と図書館基本計画について質問しました。

市議会を傍聴

貴重な未就学障がい児の母子通園施設 わかくさ園を守れ



みわ 陽子
党市子ども教育責任者

江南市は、わかくさ園の民間譲渡を検討しています。建物の老朽化と同種の民間施設が市内に増えたことが理由だそうです。森ケイ子議員は怒りで言葉を詰まらせながら「わかくさ園の大切さ」を訴えていました。

市立わかくさ園は、母子で通園し療育を受ける施設。言語指導や作業療法、音楽療法など、専門の指導を親子で受けられます。不安を抱える保護者にとっても必要な場です。市立わかくさ園という質の高い施設があることで、保育園の障がい児保育や民間施設の質の向上につながるのではないのでしょうか。